

特定非営利活動法人  
福山市身体障害者団体連合会

第33号

# 福山市身連通信

2019 (H. 31) 年 1月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会  
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会  
連絡先 電話 FAX 084-961-4733

## 目 次

市身連スポーツ大会	7
中・四国身体障害者福祉大会	6
障がい者招待ボウリング大会 県大会表彰者名等	5
広島県身体障害者福祉大会	4
福山市ふれあい福祉まつり	3
中・四国身障相談員研修会	2
新年の挨拶	1

# 新年明けまして

おめでとうございます

特定非営利活動法人

福山市身体障害者団体連合会

理事長

三島 茂

事務局長

根本 敏太郎

平成という時代最後の新年を迎えました。

福山市身連及び参加各協会の皆様御健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年度替わりの頃に年号が変わり新しい時代が始まりますが、我々の身体障害者団体連合会も役員の任期満了で改選の年となります。

昨年まで長く会計を勤めてくれた白石氏も今年は居られず、執行部は新しい陣容での活動とならざるを得ま

せん。できるだけ元気で若い人に会の活動に参画してもらい活発に活動する団体でありたいと願っています。

我々の団体が法人化して昨年の夏で五周年でしたが、ここまでそのメリットを生かした活動は出来ていません。

現在の役員・会員で新たな事業を掘り起こすことは大変難しいことと思われませんが、役員改選を契機に今年度の活動の活発化と会員皆様のご多幸、ご健康をお祈り申し上げます。

## 構成団体

福山市身体障害者福祉協会

会長 村上 友一

福山市視覚障害者福祉協会

会長 大成 敏正

NPO法人福山ろうあ協会

会長 門田 潤美

加茂町身体障害者福祉協会

会長 鎌川 拓也

代行 藤原 信弘

福山車いす福祉協会

会長 坪山 明生

福山市難聴者・中途失聴者協会

会長 井上 佐智子

新市町身体障害者福祉協会

会長 三島 茂

神辺町身体障害者福祉協会

会長 田上 敬二

芦田町

甲斐 賛

第20回  
**中・四国ブロック身体障害者相談員研修会**  
 日時 平成30年10月5日(金) 10時～  
 会場 広島市総合福祉センター5階ホール

毎年・四国のかこの県で開催されている身体障害者相談員の研修会が今年広島市が主管となつて広島市内での開催で、十月五日広島駅前、広島市総合福祉センターに中四国九県一市から約一六〇名の相談員が参加して行われました。

充分参加者が有るよう県内各協会に案内し福山市にもできるだけ多数の参加を要望していました。当初福山はリフト付きバスを予定し二〇名ほどの参加予定でしたが、バス会社が修学旅行のため運転手の都合がつかず久しぶりに西部観光のバスで、車いす使用者の相談員には断念してもらいその分人数が減つての参加となりました。

この中四国での研修会は日身連も対応していて会長自ら出席して挨拶、研修後の総括も通例で、午前中午後にかけての研修で県内五十名程、広島市三十名弱、中国各県から五十名弱参加等で会場後方ではマイクの声が聞き取れない程でした。

午前の講義は「障害者差別解消法の現状と課題について」と題して、今整備された障害者関連法の制定委員として参画し現在明石市の障害福祉課の金政玉課長がこの解消法が制定された課程やその措置の方法等の説明がされ、現在在籍している明石市がどのような対応を考えているか等の行政側としての方針の説明が改めてありまし

た。制定過程の詳しい話は始めて聞きましたが、施行された現状についての話はほとんどありませんでした。

昼休憩は、そのまま会場で注文してあった弁当を食べて、十三時から午後の講義になり「身体障害者の支援とアクセシビリティについて」と題し、広島大学アクセシビリティセンターの山本幹雄准教

授の話の聞ききました。

普段あまり耳にしない「アクセシビリティ」と言う言葉の意味、内容についての説明がありましたが、障害者との関連についてはいろいろな対象によって関係はいろいろあると言うように単純に説明のつくものではないようです。

大学においては、障害者に関して勉学をするためにどのような気配りがされているかを調べた調査についての説明や、現在大学などではICTテクノロジーを活用した支援等があることの説明で、福山から参加した相談員には孫世代の障害者に対する話のように思えて横文字の意味がよくわからない筆者には半分位しか理解できない点がありました。皆さん結構熱心に聞かれていたようでした。

講義が終了し、日身連の阿部会長が研修の総括をされ、その後来年度の開催県である岡山県の粟井副会長が挨拶をされて、研修会を終了しました。

福山からの参加者はバスに乗り込み、明日は福祉まつりだなど話しながら帰ってきました。

県身連は今年、中四国の研修会が広島市であるため県の研修会を早めて夏に県内三ヶ所で済ませておいて、この研修の開催県として



# 第四十二回ふれあい福祉まつり

日時 二〇一八年十月六日  
会場 ビッグローズ（御幸町）

これまで毎年緑町公園・グリーンアリーナで開催されていた緑化祭、ふれあい福祉まつりが今年この会場で開催出来ず御幸町のビッグローズを会場に十月六日の一日のみの開催で行われました。

例年の参加団体にこの開催案の案内があつて、説明会に集まった段階では本当に行事として充分でざるのかと心配する声もあつたようですが、とにかく今年は会場がここしかないと決定されたようです。

緑町公園での開催では食品関係の店は屋外テントでの参加でしたが、今回は全参加団体が屋内で、しかも緑化祭と同じ屋内ですので会場案内を見ると隙間なしの状態で気にしながら開会の一〇時前にビッグローズに行きました。

中は会場全体を残すところなく区

画したやや小さめの参加者スペースでしたが、グリーンアリーナの時のように各コーナーをパターションで区画して見通しが効かなかった時より、それがなくてどこに何があるか分かりやすいことは来場者には返って廻りやすかつたようです。

今年我々の団体が参加する行事等が天候によって左右されることが多く、この福祉まつりも今年最後の大型台風が予報され、進路がその前と同じく西日本を通過するコースと言われどうなることかと心配していましたが、幸いやや早めに朝鮮半島よりに進んで当日は雨も風も全く心配いらずでした。会場はむしろ暑さだけが迷惑で、意外と大勢の来場者で賑わっていました。

私たち福山市身連は例年通り障

害者相談コーナーを開設しての参加をし、今回一日のみそれも五時間程の行事に改めて資料等に経費をかけて揃えるのはどうかかと考えましたが、園生事務局次長が前回の資料を点検したところ、改めて用意した方がいいとほとんど一人で制作して会場に持ち込んでくれましたので、前回より狭いコーナーには十分でした。

相談員の人全員に案内して参加を呼びかけまして、出欠を確認できるようにできませんでした。約半数の相談員に出席してもらい少し狭いコーナーに座るところがないほどでしたが、相談としては障害が進行したらどのような対応があるか？等一・二の相談がありました。

緑町公園では少し離れた場外のステージである行事がここでは入口を入ってすぐ近くに設定してありましたので、挨拶や表彰式のあとは体操やダンスそれにライブショー等のイベントごとにぎやかな放送が場内いっぱいに鳴り響いていて、これが会場に活気を誘い、来場者を楽しませていました。

緑化エリアこそ人影は少なめでしたがほかは人があふれていて、またラーメンなど持ち運んで食べる場所が緑町程離れていなく、子供連れで食べている人が多かつたようです。

狭さと交通の便はどうかわかりませんが、来年もここでやればいいんじゃないか・・・という声も聞こえていました。



第五十七回（平成三十年度）

# 広島県身体障害者福祉大会

時 平成三十年十月二十四日  
所 庄原市 庄原市民会館

今年の障害者関連の行事は年度初めの全国大会が例年の五月から六月にずれ、以来ほとんどの行事が一ヶ月遅れで、いつも通り予定されていた障害者招待ポウリングも大雨の影響で秋に再募集となり、今回の県大会も一ヶ月遅れて十月の下旬に開催となっています。

予定日が週間天気予報に表示されるようになると当日のみ傘マークでしたが、幸い一日ずれて秋晴れとなりました。

少し修正し出来るだけ渋滞にかからないようにと出発しましたが、芦田川沿いに北上する頃も道は満

車で府中道の駅でトイレ休憩の時すでに予定を少し遅れていました。

開会時刻の一〇時を少々遅れて会場の市民会館に到着し急いで会場に入りましたが、先ず舞台上上がる前川副会長等を先に引率してもらい我々が入館すると式典の君が代が斉唱されており、その後階段状の指定された席や表彰を受ける人の席に案内して貰いました。

式典は例年通り、開会挨拶と市長の歓迎のことばのあと表彰があり、福山の会員五名も会長表彰を受けました。その後来賓の挨拶等があり第一部を終了となりました。ここでアトラクションとして地元比婆荒神神楽が演じられました。八岐の大蛇等のような大仕掛けの

ものでなく演者二人だけのシンフルな神楽で、猿田彦の舞を演じ、力演に拍手が送られていました。第二部に入り恒例の議案説明があつて、それに続く大会宣言、大



約しており、スロープを上り二階の会議室に案内されて運転ボランティアの人に運んで戴いた弁当を食べました。食後ロビーに飾ってあつた今回の大会に合わせて募集した写真展の展示を見て回りました。これには福山からも5・6名が応募していて「わたしのお気に入り」と題したこの募集に県内から二〇数点の応募があり、自分なりの視点での作品がいろいろ展示されていました。

これで会場を出て予定していた小田県身連副会長ゆかりの岩本観光りんご園に向かいました。バスは芸備線沿いに走り東城町のりんご園に到着し、先ず説明を聞いて一〇種類程のりんごの園内を案内されて試食して好みのりんごを取って量を計って代金を払うことになっていました。

。今回の行程はこれでおわり、182号線に出て、途中神石高原町の駅でトイレ休憩をして、朝一番早く出た神辺に最初に到着して無事福山に帰ってきました。

＊次ページに受賞者名と写真展応募者名を記載します。

福山の団体は館内での食事を予定していましたが、来年開催予定の熊野町福祉協会会長が日程は未定ですが挨拶をされて大会を終了しました。

福山の団体は館内での食事を予

平成最後、庄原市での  
県大会受賞者・応募者名

平成三十年年度県大会

被表彰者会員名

(福山市身連関係)

県身連会長表彰

団体功労者

園生 浩治 (神辺)

杉原 瑞枝 (ろうあ)

自立更生者

岩崎 周市 (視覚)

蔵屋 博 (ろうあ)

原田 伸介 (福山)

(敬称略)

受賞者の皆様おめで

とついでいます。

今後共ご活躍を期待し

ております。

### 県大会における写真展「わたしのお気に入り」への 福山市からの応募者

題名「藤棚」	神辺協会	伊藤 達雄	(敬称略)
「秋彩の午後」	神辺協会	園生 浩治	
「台風前の朝焼け」	神辺協会	田上 敬二	
「輝竹」	ろうあ協会	松岡 正明	
「瀬戸の輝き」	難聴・中失協会	井上 佐智子	

地元伊勢村耕充氏と県内26名程の応募作品が展示されておりました。

福山東ライオンズクラブ主催

## 第三七回障がい者招待ボウリング大会

時 二〇一八年一〇月二八日  
所 福山市福山パークレーン

七月に例年通り予定され開催されることになっていた障がい者招待ボウリング大会が前日からの大雨で市内各地に通行できない状態が起き急遽中止になりましたが、改めて東ライオンズクラブが再募集されて開催されることになり、十月二八日、福山パークレーンで行われました。

東ライオンズでは七月にパークレーンを借り切ったの開催予定だっただけに、日程も経費も大変だったと思われませんが、多少参加者数の制限はあったものの今年度の行事として改めての招待となりました。

再募集で福山市身連としては七月の時の希望者全員とはいきませんでした。事務局が交渉し少し人数を増やして参加させて貰いました。大会はいつもの時と同じく、パークレーンに市身連はじめ障がい者

団体等八団体が招待され例年通りニゲームトータルピンで行われ、招待された参加者は賑やかにゲームを楽しみました。

ゲーム後は弁当をいただきながら成績発表があつて、福山市身連からの参加者何人もが中間賞に入り大きな箱入りの賞品を戴いたようです。そして賞にもれた人も全員重たい程の果物の参加賞をいただいで帰りました。

この大会に来賓として枝広福山市長も来席し挨拶され例年通り亀井プロも広島から来られ参加者にアドバイスされました。

大会を終わっての謝辞を今年市身連の根本事務局長がのべて閉会となりました。

始めて予定通り出来なかった大会を改めての開催をしていただいた福山東ライオンズクラブのお骨折りに感謝です。

第四回 平成三〇年度

# 中・四国身体障害者福祉大会

とき 平成三十年十一月十六日  
ところ 岡山県 倉敷市民会館

中・四国身体障害者福祉大会は中国地区と四国地区でほぼ交互に開催されてきて、今年はお隣の岡山県で開催と決まっていました。

福山市身連は四国や山陰での年は一泊の行程で福山独自で団体を組み募集して参加しますが、今年は隣県でも倉敷での大会なので県身連のように宿泊はせず日帰りで参加するツアーを組み車いす使用者も参加できる様リフト付きバスを予約して募集しました。

大会には県身連を通じて参加者数の通知と参加費の納入が必要で今年十月の県大会と十一月の岡山大会の両方九月末までにすることになっていて、県大会の対応が先なので中四国の参加者数はとりあえず例年の二十名未満に日帰り分加算して二十三名分ほど送金して

バスの定員も勘案しながら募集しましたが、いつものことで直前まで増減しながら当日二十一名の参加者を早朝からバスが回って乗せて山陽道に入りました。

先月庄原での県大会のときバスが市内の参加者を拾って出発しましたが、やはり平日の通勤ラッシュと重なり府中を通過する頃予定より遅れていましたので、今回行先も考え朝の行程を変えて予定通り高速に乗ろうとしましたが、やはり朝の道は思うように走れず、福山東から玉島のインターを降りた頃は9時半ぐらいで、到着して会場に入ると開会前のアトラクションがおわり、開会の挨拶中でした。案内書には会場の平面図があり広島県は最後部の席でその後ろに入口が書いてありましたので、入っ

てすぐ座れると思って入ると席はすべて階段席で我々は途中の入口から入り、屋根に向って登る最上段の方でした。車椅子席は別でしたが、広島県の席で県身連ツアーの人や府中、尾道の参加者等と笑顔の挨拶をしながら席に落ち着いた頃歓迎の挨拶があつて表彰が行われました。広島県からも三名表彰されましたが、今回福山は関係ありませんでした。

国会開会中でありすべて代理の方で、地元加藤代議士婦人の祝辞等があつて一部を終了し、小休憩のあと第二部の議事になり例年通り各省庁への要望書の採択、大会宣言、大会決議を参加者全員の拍手により採択し議事を終了、次期開催の愛媛県の挨拶、前年度の高知県の発声で万歳三唱で閉会となりました。

これで会場とお別れでしたがここが大変でした。バスが遠方から帰るのを待つこと約1時間立ちっぱなしで待たされました。そのバスは吉備路を走り、途中食事処からバイキングの時間終わりそうですが本当に來られますかと電話されながらギリギリ間に合つて、貸切状態で「サンロード吉備路」の二階のバイキングで好きな食べ物を選んで昼食となりました。

そこから近くの「もてなしの館」へより土産物を買って一路福山へと帰路につきました。

これで今年度の全国・県・中四国各大会を全て終了です。参加者の皆様ご協力大変ありがとうございました。



平成三十年度

# 市身連スポーツ大会

日時 平成三十年十二月九日午後  
会場 福山市障害者体育センター

市身連活動としてのスポーツ行事が今年はお成金はなく経費節減でやれるよう担当協会と事務局で意見を集め、用具等の借用が出来障害者も無理なくできる種目をと考えた「スポーツ大会」を開催となりました。

年内に行う計画で、人権センターが体育センターで会場が借用できるか問合わせた結果身障体育センターを会場に最近障害者スポーツとして紹介されている種目等も聞いて、どんな種目でしかも今回昼食を挟まない日程のため時間が限られ、それも考慮して六種目程の競技で会員に案内・募集しました。十二月九日午後から港町の身障体育センターで開催のため役員は午前十時に集合し競技のための設定や参加者用の椅子の配列、参加賞の包装等準備し、駐車場が足りなく借用するためその係も決めて



会員の来場を待つこととなりました。

今回の行事は障害の種別により難しい

面もある中、ろうあ、視覚、難聴協会の人たちも参加されて全面的な行事になったことは大変嬉しいことでした。

競技に四十名程の参加があり、その中でフライングディスクとカローリング、ピン倒しを得点種目

として、1〜3等、中間賞、ブービー賞をだし、中間賞は何人もいてジャンケンで決まりました。

当日は前日から急に冬らしき低温でしたが、天気はよくほぼ予定者は出席し、競技時間が全く読めませんでした。時間内に予定の競技をすることができました。

スポーツ大会と言うより運動会か障害者スポーツ体験会のような行事でしたが、障害の違いを超えて体を動かし、みんなと触れ合えた行事で、このような行事はボランティアの人たちなしでは出来ないことで、閉会の挨拶でお礼が抜けておりましたが、本当にお世話になりました。

## 誰か連絡係を

好まれますが、ただ  
愛されたい  
ケオレます  
ラオレます  
カオレます  
にもおあり  
に何回も  
ご声も  
うな連絡係  
ばという連絡係  
どなたか連絡係  
だけませんか？  
参加者多ければ、事務局までお申し出よろしく

NPO法人 福山市身体障害者団体連合会

<http://fukuyamasisinren.sub.jp/>

インターネットの検索欄で、上記のアドレスをいれて検索するか、福山市身連の文字を入力して検索して見て下さい。ホームページをご覧ください。